

よむよむ

十日町情報館 〒948-0072 十日町市西本町2丁目1番地1
 TEL: 025-750-5100 開館時間: 午前9時～午後7時
 休館日: 第2・4月曜日、特別整理期間、年末年始(12/29～1/3)
 各分室の開館カレンダーは、「WebOPAC」のウェブサイトでご確認ください。

WebOPAC



Instagram



新館長のご挨拶

十日町情報館長 小林 良久

本年4月1日より十日町情報館長を務めさせていただいております、小林良久と申します。どうかよろしくお願ひします。

情報館につきましては、私自身利用する側としての意識が強かったため、現状の立ち位置に少々戸惑いつつも、見えてくる景色の違いに新鮮さを感じているところです。

一方で、改めて館内を見渡す中で、多くの皆様のご厚意により情報館が支えられていることなどを知り、今更ながらの気付きに恥ずかしい思いもしています。

情報館の運営面では初心者マークの私ですが、利用される皆様に向けて、工夫、配慮、優しさに満ちた対応をしてくれる心強いスタッフがいます。こうした人たちとともに、市民に愛され、癒しの場となる情報館を目指してまいりたいと考えています。皆様の来館をお待ちしています！

こどもの読書週間

4月23日(木)～5月12日(火)

標語「ことばがきみのはねになる」



● なかみはないしょ！ ひみつの2さつセット

ふくろにはいった2冊の絵本を貸し出します。

どんな本かはあけてからのお楽しみ！

期間／4月23日(木)～5月12日(火)

場所／情報館児童コーナー、川西分室、松代分室

対象／幼児～小学生

● 消しゴムハンコで図書館バッグを作ろう！

HANA no TSUYUさん(市内在住)製作の消しゴムハンコを使い、自分だけの図書館バッグをデザインしましょう。

※申込みは終了しています。

● 映画「すみっこぐらし」上映会

内容／『すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ』

日時／5月6日(水・振替休日)

①午前10時～11時10分

②午後2時～3時10分 ※①・②とも同じ内容

会場／1階視聴覚ホール

対象／幼児～小学生

定員／各回先着90人(要事前申込み)

👉 便利です！インターネットサービス

情報館の利用登録とインターネットサービスのパスワード登録をすることでご利用いただけます。資料の予約、予約取消、予約変更、貸出期間の延長などができます。※詳しくは、館内のサービス案内チラシをご覧ください。



「ほんの気持ちプロジェクト」

3月23日(月)に、新潟県労働金庫十日町支店推進委員会の小林委員長より渡辺正範教育長に目録

が手渡されました。寄贈された本は情報館が選んだもので、特に建築物や美術作品など小学生向けの芸術分野の図鑑が多くなっています。ぜひご覧ください。



第108回名作読書講座

『老人と海』

ヘミングウェイ／著 新潮社他

日程／5月17日(日) 午後2時～3時15分

会場／1階第1集会室

対象／中学生以上

講師／庭野三省さん

定員／25人(申込み不要)

【名作読書講座 年間予定】

6月28日(日) 佐藤雅美『覚悟の人』

7月26日(日) 内館牧子『すぐ死ぬんだから』

8月23日(日) 城山三郎『落日燃ゆ』

9月27日(日) 須賀しのぶ『革命前夜』

10月25日(日) 垣谷美雨『老後の資金がありません』

11月22日(日) 灰谷健次郎『兎の眼』

12月13日(日) 尾崎紅葉『金色夜叉』

時間はすべて午後2時～3時15分

※日程、内容は変更する場合があります。

Instagram も更新中！

情報館・分室に入った新着図書や図書館員のおすすめ本を紹介したり、イベントのご案内などタイムリーな情報を発信しています。ぜひ、フォローしてください。



4・5月のおはなし会 ()内は対象、時間はすべて10時30分から

●情報館

- 4月4日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)
11日(土)／おはなし「たまてばこ」(乳幼児)
18日(土)／読み聞かせの会 どんぐり(幼児～小学校低学年)
25日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)
5月2日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)
9日(土)／おはなし「たまてばこ」(乳幼児)
16日(土)／読み聞かせの会 どんぐり(幼児～小学校低学年)
23日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)
30日(土)／おはなしぴよぴよ(乳幼児)

●川西分室

- 4月18日(土)／おはなしの会「ふきのとう」
(乳幼児～小学校3年生くらい)
5月16日(土)／おはなしの会「ふきのとう」
(乳幼児～小学校3年生くらい)

●松代分室

- 4月11日(土)／おはなしたんぼぼ
(幼児～小学校低学年)
5月9日(土)／おはなしたんぼぼ
(幼児～小学校低学年)

本のチカラ (25)

子ども読書活動推進コーディネーター 林 篤子

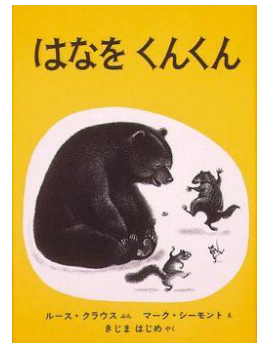
長かった冬が終わり、柔らかい日差しに包まれる春になりました。

今までと違う教室、学校、職場、引っ越し先の家など、環境が変わり、心新たに新生活を迎えられた方も多いと思います。

春は色々なことが動き出します。この時期になると読みたくなる一冊をご紹介します。

『はなを くんくん』 福音館書店

ルース・クラウス/ぶん マーク・シーモント/え きじまはじめ/やく



雪に覆われた寒そうな冬の森。どこまでも広がる白と黒の世界。雪の下では、のねずみもクマも丸くなって冬眠しています。カタツムリやリスは木の中で、やまねずみは土の中で、春が来るまで眠りについていて、やがて動物たちは、春の訪れを感じて目を覚まします。みんな、冬眠していたところから出てきて動き出します。そして、はなをくんくんさながら一斉にかけていきます。向かった先には、なにがあったのでしょうか。

ページいっぱいに雪国の冬が見事に描かれています。それは私たちが見慣れた十日町の景色のようです。生命の存在を拒むような冷たい雪の下には、様々な生き物があるのだと想像すると、あたたかい気持ちになります。長い冬の間、籠もって過ごしたからこそ、春が待ち遠しく、太陽の力強さに喜びを感じるのかもしれませんが。白黒から少しずつ、色づいていく春の景色。寒い冬の後には必ず春が来ます。巡る季節は、人生にも通じる気がします。あたたかくなって嬉しい。みんなに会えて嬉しい。そんな動物たちの踊りたくなる気持ちが伝わってくるようです。春の訪れに幸せを感じながら。

原題は『THE HAPPY DAY』、コルデコット賞受賞作品。1949年にアメリカで発行され、日本では1967年に発行されたロングセラーです。



「読書賞受賞者の本棚」を設置しました！

市内の小・中学校で選ばれた読書賞受賞者(33人)のみなさんがおすすめる本を紹介し、展示・貸出しをしています。情報館1階で5月上旬までの設置予定です。

ぜひ見いらしてください。

テーマ図書 新しい本との出会いに♪

一般 4月「やってみよう」「春到来」「朝ドラ、『風、薫る』」
5月「ファミリー」「自然を味わう」「坂口安吾生誕120年」
など

児童 4月「春が来た」「レッツ・チャレンジ！」
5月「かぞく」「とっておきの1冊」「注目！高校生直木賞」
など

家読(うちどく)の日

「家読(うちどく)」は「家庭読書」の略で、「家族ふれあい読書」の意味です。毎月第3日曜日は家族で読書を楽しみましょう。4月は19日、5月は17日です。情報館の本をお役立てください。